

知的財産セミナー  
「オープン・ソース・ソフトウェアと知財管理」

2021年12月1日(水)  
東京UIT国際特許業務法人  
弁理士 井上 正

## 0. 大前提その1、その2

- ・ソフトウェア(プログラム)は著作権法上の著作物⇒正当権限なきものの利用は著作権侵害となる
- ・オープン・ソース・ソフトウェアは著作権を放棄していない

## 1. ソフトウェアの種類

### (1) フリー・ソフトウェア

- ・オープン・ソース・ソフトウェア
- ・パブリック・ドメイン・ソフトウェア
- ・フリー・ウェア
- ・シェア・ウェア
- ・独占ソフトウェア

### (2) フリー・ソフトウェアとオープン・ソース・ソフトウェアの相違

## 2. オープン・ソース・ソフトウェアの定義(OSIによる)

1. 自由な再頒布
2. ソース・コード
3. 派生物
4. 作者のソース・コードの完全性
5. 人、グループに対する差別の禁止
6. 利用分野に対する差別の禁止
7. ライセンスの分配
8. 特定製品でのみ有効なライセンスの禁止
9. 他のソフトウェアを制限するライセンスの禁止
10. ライセンスの技術中立性

## 3. オープン・ソース・ソフトウェアの注意点

### (1) ライセンサ側の注意点

### (2) ライセンシ側の注意点

- ・Apache License 2.0
- ・BSD 3-Clause "New" or "Revised" license
- ・BSD 2-Clause "Simplified" or "FreeBSD" license

- ・ GNU General Public License (GPL)
- ・ GNU Library or "Lesser" General Public License (LGPL)
- ・ MIT license
- ・ Mozilla Public License 2.0

#### 4. オープン・ソース・ソフトウェアの例

##### (1) ・ コピー・レフト

- ・ 準コピー・レフト
- ・ 非コピー・レフト

##### (2) ・ 著作権表示の例

- ・ ライセンス文の例
- ・ 免責条項の例

#### 5. オープン・ソース・ソフトウェアをめぐる現在の状況

- ・ ソース・コード開示義務違反での訴訟
- ・ オープン・ソース・ソフトウェアの脆弱性
- ・ 特許リスクへの対策
- ・ 各社の取り組み事例

#### 6. オープン・ソース・ソフトウェアを適切に利用するためには

#### 7. おわりに